

塾人社 四択問題【理科2分野 地震 2】

設問 1	初期微動継続時間は、何に比例するか。	
選択肢	1	震度
選択肢	2	マグニチュード
選択肢	3	地盤のかたさ
選択肢	4	震源距離
正解		
解説		

設問 2	初期微動継続時間の説明としておかしいのはどれ。	
選択肢	1	震源距離と比例する
選択肢	2	初期微動のみが続いた時間
選択肢	3	P波が到着してからS波が到着するまでの時間
選択肢	4	初期微動が伝わってから地震が終わるまでの時間
正解		
解説		

設問 3	地震がよく起こる地域は帯状(おびじょう)に分布している。この地域を何と言う。	
選択肢	1	地震頻発帯
選択肢	2	震源帯
選択肢	3	揺れるですたい
選択肢	4	地震帯
正解		
解説		

設問 4	日本ではどの地域はあまり地震が起きないか。	
選択肢	1	北海道の太平洋側
選択肢	2	日本海側
選択肢	3	関東地方の太平洋側
選択肢	4	東北地方の太平洋側
正解		
解説		

設問 5	日本付近の震源の分布の特徴はどれ。	
選択肢	1	日本海側に向かうにつれて震源は深くなる
選択肢	2	太平洋側に向かうにつれて震源は深くなる
選択肢	3	どこでも震源の深さは一定
選択肢	4	震源はほとんどない
正解		
解説		

塾人社 四択問題【理科2分野 地震 2】

設問 1	初期微動継続時間は、何に比例するか。	
選択肢	1	震度
選択肢	2	マグニチュード
選択肢	3	地盤のかたさ
選択肢	4	震源距離
正解		4
解説	震源地からの距離が遠ければ遠いほど、初期微動継続時間は長くなる。その関係は比例なんだよ。	

設問 2	初期微動継続時間の説明としておかしいのはどれ。	
選択肢	1	震源距離と比例する
選択肢	2	初期微動のみが続いた時間
選択肢	3	P波が到着してからS波が到着するまでの時間
選択肢	4	初期微動が伝わってから地震が終わるまでの時間
正解		4
解説	注意してほしいのは、主要動が伝わった時点で、初期微動が終わるのではないということ。主要動が強いので、弱い初期微動を感じないだけなんだよ。	

設問 3	地震がよく起こる地域は帯状(おびじょう)に分布している。この地域を何と言う。	
選択肢	1	地震頻発帯
選択肢	2	震源帯
選択肢	3	揺れるですたい
選択肢	4	地震帯
正解		4
解説	日本付近を含む環太平洋(かんたいへいよう)地震帯や、地中海-ヒマラヤ地震帯などがある。、	

設問 4	日本ではどの地域はあまり地震が起きないか。	
選択肢	1	北海道の太平洋側
選択肢	2	日本海側
選択肢	3	関東地方の太平洋側
選択肢	4	東北地方の太平洋側
正解	2	
解説	全体的には、西日本よりも東日本に多く、日本海溝(にほんかいこう)の大陸側に多いのが特色だよ。日本海溝とは、東日本の太平洋側にある8000メートルから10000メートルもの深さのある溝(みぞ)を指すんだ。	

設問 5	日本付近の震源の分布の特徴はどれ。	
選択肢	1	日本海側に向かうにつれて震源は深くなる
選択肢	2	太平洋側に向かうにつれて震源は深くなる
選択肢	3	どこでも震源の深さは一定
選択肢	4	震源はほとんどない
正解	1	
解説	日本列島の地下では、大陸プレートの下に海洋プレートが沈み込んでいる。そして、その海洋プレートは日本海側になるほど深く沈み込んでいるので、そのひずみで起きる地震の震源が深くなるんだよ。	